

広 報 く に み

KUNIMI

1

2023

No. 594

Cover

今月の表紙は、あつかし山ビックツリーです。
点灯式前日の雪で、真っ白に雪化粧したあつかし山にイルミネーションが美しく輝きました。点灯と同時に打ち上げられた色鮮やかな大輪の花火。吹雪の中での撮影となりましたが、寒さを忘れて夢中で撮影することができました。
——皆さまにとって今年も良い年になりますように。

Contents

- 02 … 新年のごあいさつ
- 03 … 【特集】認知症とともに生きる
- 13 … 申告相談のお知らせ
- 14 … 町職員の給与状況等
- 18 … まちのわだい
- 24 … まちの情報ボックス ほか

【特集】

認知症とともに生きる

あなたはあなたのままでいい——



いきいきサロンで、利用者との交流を楽しむ佐藤勝代さん。
毎回欠かさず娘の眞理子さんと参加しています。

国見町では、高齢者の人口割合が4割に達し、65歳以上の高齢者のうち270人が認知症と診断されています。認知症は高齢者だけでなく、若年性の認知症もあり決して他人事ではありません。いつまでも自分らしく国見町で暮らし続けるために大切なこと、一緒に考えてみませんか。

令和5年 新年のごあいさつ

国見町長

引地 真



明けましておめでとーございます。今年が皆さんにとって、良い一年でありますよう本心からお祈りします。新型コロナウイルスで、人と人とのつながりの基本の「密」が疎まれて、寂しさや心細さを感じる日が続いています。何より、その寂しさや心細さが当たり前になってきていることに怖さを覚え、合「密」を上手に避けながら、ふれ合いを保つ事業を続けています。生業や生活の不安へは、他市町村では対象としていない層をも含めた独自支援と上乘せ支援、町内経済循環のためのプレミアム商品券事業、農林畜産

業の下支えの補助事業などを拡充、新設しました。一方、他市町村に比べ劣っていると言われる子育て支援は、独自支援と事業新設、県内でも先駆けの学校給食完全無償化などの拡充、子育て世帯用の住宅建設に取り組んでいます。また、移住・定住策は、子育て世帯への独自支援と併せ、町営住宅を若者のワーケーション向けに改修する事業で対応しています。加えて、こういった国見町の取り組みを多くの人に知らせるための効果的送受信の手段も見直しを進めています。さらに、国見町に暮らす人たちの生活の質を向上させるための町内会要望にも、積極的に応えています。要望は幅広い内容ですが、命を大切に誰もが幸せに暮らせるまちづくりの実現のため、果敢に取り組みいたします。国見町は昨年4月に過疎の町に指定されました。でも、先達たちが、その時々で最良と判断しながら一所懸命に紡いできたまちづくりですから、恥じても失望していません。私たちが肝に銘じなければならないことは、過疎という事実を正面から受け止め、その上で国見町をもう一度デザインし直すことです。そのために国見町過疎地域持続的発展計画を策定しました。国見町を維持することと併せ大事にしたいことは、まずはこの町に

住む私たち自身が「国見って良いよね」と実感できる町にすることでしょう。国見に暮らす一人ひとりを大切にしながら、前例に拘らず、知恵を絞り、挑戦していくこととします。その挑戦の一つが、これまで国見町が後回しにしてきた子育てや教育環境の質を高めることです。子育てや教育に優しいまちは、高齢者にも優しいまち。そして、高齢者に優しいまちは、すべての人に優しいまちです。皆につながります。今、赤ちゃんから15歳までの子どもと一緒に育ち、学ぶ保幼小中一体型の『くにみ学園構想』を練り上げていきます。子どもを真ん中にした『国見だからこそできる育みと学び』を創造しようとしています。大事な事業ですから、丁寧な説明を心がけ、意見に耳を傾け、進めていくこととします。これまでのタウンミーティングで皆さんの頑張りを目の当たりにして、私たち行政はもつと皆さんの心の声を知り、優しく、頼られる存在にならなければ、と強く思います。一方、幸せなまちづくりは行政だけでは実現しません。皆さんの力が必要です。どうぞ、国見町を応援してください。お願いします。皆さんの幸せを祈り、お願いをして、年初のごあいさつとします。



本人の声
佐藤 勝代さん

その人らしさは変わらない
「私ね、忘れっぽいんだけど、聞くとみんなが教えてくれるの。」「いつも助けてもらえて、本当にありがたい。若い時から周りへの感謝の気持ちを大切にしていた勝代さん。勝代さんの口からは、今でも変わらず感謝の言葉が溢れます。
この日のいきいきサロンでは、花笠音頭をみんなで踊りました。人を楽しませることが大好きな勝代さん。自分の故郷の踊りを披露して、周りの参加者を自然と笑顔にしていました。」



家族の声
村上 眞理子さん

今度は母が認知症に
「今までたくさんの人に支えられてきたから、今度は誰かの役に立ちたい。」
そう言いつて取材を快く受け入れてくれた村上眞理子さん（71歳）。これまで、認知症の父と姑、病気の夫を介護してきました。姑と父、夫を看取り、現在は認知症を患った母の佐藤勝代さん（94歳）を自宅で介護しています。
「3年前くらいだったかな。父の介護と一緒にしてきたけど、段々と父のことに関心が無くなって、上手く介護ができなくなつて

温かく見守ってくれた—— 地域の皆さんに感謝

きました。おかしいと思って病院に行くけど認知症と診断された」と、眞理子さんが当時のことを話してくれました。几帳面で、人一倍しっかりしていた勝代さんが認知症と診断されたことがとてもショックだったそうです。

誰かの役に立ちたい

勝代さんは徐々に記憶力が低下していききました。デイサービスの時間を教えても少しするとまた同じ質問を繰り返すようになり、最近眞理子さんの姿が見えないと不安で、眞理子さんについて歩くだど分かっていてもついいきつく怒ってしまうことがあります。それでも、笑顔を見せる勝代さんを見ると、眞理子さんは後悔に苛まれるといいます。

料理が大好きだった勝代さん。今は、味付けや料理の手順が分からなくなり1人ではできなくなりました。



▲いきいきサロンでは地域の方と一緒に楽しい時間を過ごします

病気ではなくその人を見る

「認知症」と聞くと、どう接したらいいか分からないという「戸惑い」を感じる人も多いかもしれませんが。まずは、その「人」を見るのが大切です。その人には認知症と診断される前に、何十年と積み重ねた人生があります。できなくなっていくことがあっても、その人であることに変わりはありません。「できる、できない」という物差しだけで見るのではなく、1人の「人」として寄り添うことで、認知症の方が勝代さんのように、心穏やかに過ごしていくことにつながるのではないのでしょうか。

「家族の役に立ちたい、何かやらなくてはと思うのでしよう。昔のように台所に立ったり、庭の草むしりを始めるんです。」と日々の生活について話します。眞理子さんはそんな勝代さんを止めようとはせず、隣に立って手順を1つ1つ伝えます。

1人の人間として「誰かの役に立ちたい」という気持ちは、認知症の方も私たちと同じです。その思いを受け止め、役割があること、ここにもいいんだと思えることとは、不安の中に生きる認知症の方にとつて、安心感へとつながっていきます。

抱え込まず誰かに相談を

「決して1人で抱え込んでほめ。自分が壊れてしまう。しんどい時はみんなで介護をすることが大事」と力強く話す眞理子さんは、家族や地域、ケアマネジャー、介護事業所に支えられてきました。特に近所の人には、勝代さん



担当ケアマネジャーの声
公立藤田総合病院
在宅ケアセンター所長・看護師
松浦 弓子さん

地域全体で支えあう—— みんなで見守ることが大切

お互いを尊重する

眞理子さんとは、お姑さんの介護のときから11年間ケアマネジャーとして関わってきました。

認知症を患う前の勝代さんは、旦那さんが物事の理解が難しくなっても必ず旦那さんを立て、家長としての尊厳を守れるように関わっていました。眞理子さんが勝代さんを介護するようになってからも、同じように眞理子さんが勝代さんを尊重しながら介護しています。

の認知症をためらわずに伝えていきます。「地域のみなさんには認知症を打ち明け、いつも見守ってもらっています。町を歩けば声を掛けてもらい、いきいきサロンでも変わらず接してもらっています。母が母らしく過ごせることに、感謝があります。」と微笑みながら話す眞理子さん。



▲お二人のツーショット、インタビュー中も笑顔の絶えない和やかな雰囲気がありました

誰かが困っていれば、いつでも助けるようなお二人だったので、今度は「お互いさま」という気持ちで、地域全体で支え合っているように感じています。

また、認知症の方を介護する上でお互いに「顔を知っていること」「隠さない」ことがとても大切だと思います。本人や家族のことが分かるからこそ声が掛けやすいし、みんなで見守ることができます。そんな地域であれば、認知症があってもなくても共に暮らしていける国見町になっていくはずですよ。

認知症とは

認知症は、脳の病気や障害などさまざまな原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。

アルツハイマー型認知症は、認知症の中で最も多く、脳神経が変性して脳の一部が萎縮していく過程でおきる認知症です。物忘れから発症することが多く、ゆっくりと進行していきます。

続いて多い血管性認知症は、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害によっておきる認知症で、一部の認知機能は保たれている「まだら認知症」が特徴です。

認知症の初期症状

初期症状の特徴として、同じ話を何度もする、大事な約束を忘れてしまうなどの物忘れが多いです。進行すると、服の着方や、リモコンなどの道具の使い方が分からなくなるなどの症状も、頻繁に起こってきます。

加齢による物忘れと認知症の違いは、自覚があるかないかです。例えば、加齢によるものは夕食で何を食べたか忘れ、認知症は夕食を食べたこと自体を忘れてしま

認知症カフェ

認知症ご本人やその家族、専門職、地域の方がお茶を飲みながら自由に語り合える場所です。ぜひ、お気軽に参加ください。



■次回開催

日時：1月23日(日) 10時30分～11時30分
場所：観月台文化センター 多目的スペース

国見町認知症初期集中支援チーム

町では、認知症の症状が心配な方に早期に対応するため、専門職チームを公立藤田総合病院に設置しています。医師や看護師、作業療法士などで構成されたチームが自宅を訪問し、本人や家族に合わせた医療・介護サービスの利用に向けた支援を行います。

国見町認知症初期集中支援チーム（公立藤田総合病院内）
※平日9時～16時 ☎ 563-6763
国見町地域包括支援センター ☎ 585-2702

サポーターの証
オレンジリング

認知症サポーター養成講座

認知症の病状や行動を理解し、認知症の方やその家族を見守る「認知症サポーター」を養成しています。国見町の全サポーターは1,247人で、町職員のサポーターは80人です。（12月末現在）講師は無料で派遣しますので、希望する団体は福祉課長寿介護係まで問い合わせください。

福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125



▲町職員を対象にした認知症サポーター養成講座

ます。体験の記憶そのものが抜け落ちてしまうのが認知症です。認知症の中には、硬膜下血腫や水頭症など手術をすれば治る認知症もあります。早期発見し、原因をまず明らかにすることが大切です。早期治療につながれば進行を遅らせることも可能です。

早期発見のポイント

初期段階では、覚えていられないと自分で気付きますが、進行するにつれ「忘れた」という意識がなくなります。身だしなみを気にしなくなった、1日中ぼーっとしているなど「いつもと様子が違う」と周囲の人が感じたら、すぐにかかりつけ医や地域包括支援センターなどへ相談してください。

認知症との関わり方

認知症の方はどんなに症状が進行しても「感情」は最後まで残ります。本人の自尊心を傷つけないように関わるのが大切です。



▲認知症初期集中支援チームの会議の様子

また、認知症の方が地域で暮らしていくためには、周囲の理解や見守りが重要です。特に何かをしなくても気に掛けることが支援に繋がる時もあります。特に一人暮らしの高齢者の方は、普段から近所つきあいを大切にし、お互いに気に掛け合える関係ができればよいでしょう。

専門医に聞く

認知症は早期発見と

周囲の見守りが必要

脳の病気であり、誰もがかかる可能性がある認知症。認知症とはどのような病気なのか、私たちができることとはあるのか、公立藤田総合病院副院長で認知症サポート医の佐藤昌宏先生にお話を伺いました。



認知症専門医の声
公立藤田総合病院
副院長
佐藤 昌宏 先生

認知症でもまだまだ輝ける

私は、国見町地域包括支援センターで認知症地域支援推進員として、認知症の方やご家族の相談・支援を行ったり、地域に出向いて認知症の啓蒙活動などを行っています。

活動をやる中で、「認知症になったら終わりだ」といったイメージが根強いと感じます。認知症になると家族だけで何とかしようとして社会から隔絶させがちです。認知症を発症したとしても、周囲の理解と支えがあれば諦めることがなくなり、新しいことを始めることもできると思います。本人やその家族がその人らしく、国見町で暮らしていくためにどう支えていくか、前向きに話し合える地域であってほしい。認知症になっても「安心感」を持てるような関りができるように、今後も推進員として活動を継続していきます。

認知症について心配なことがあれば、お気軽に地域包括支援センターへご相談ください。



認知症地域支援推進員の声
国見町地域包括支援センター
看護師
四家 歩さん

四家 歩さん

認知症チェックポイント

※いくつか思い当たることがあれば相談を

- ついさっきのことを忘れる
- 置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 同じものばかり買ってしまう
- 食事の準備に時間がかかるようになった
- おつりの計算に戸惑う
- 家電の操作が上手くできない
- 日課や趣味をしなくなる
- 意欲がなく、ぼんやりしていることが多い
- 曜日や日付が分からない
- 外出して道に迷ったりする
- 失敗を指摘すると必要以上に怒る

【参考】十束支明：認知症のすべて

不安で
たまらなくなる。
(87歳女性)

娘が「今までやってきたこと
でしよう」と言う。しかし頭が
混乱して、いつも頭が白く
なっている感じ。
(90歳女性)

ゆ、く、り話して
もらえると、分かる
(80歳 男性)



1. 日とくにみの利用者さんと施設スタッフ 2. 今日のおやつはおしるこに決定！ 3. その日の活動写真が入ったその人だけのお便りが配布されます 4. スタッフも一緒に縄仕事

何で怒るの？
忘れたんだから
優しく言ってほしい。
(82歳女性)

しあわせだ。
あんたのおかげです。
(87歳 男性)

まだ早かった。家族に
迷惑をかけてしまう。
親が亡くなってからで
良かった。(68歳女性)



利用者者に寄り添うこと——
通所介護日和くにみの取り組み



通所介護日和くにみ相談員の声
生活相談員
遠藤 碧さん

主体性を大切に

通所介護日和くにみは要介護1
から5までの約90の方が利用し
ています。ここに来て利用すること
を認識できる方、短時間で忘れて「家
に帰る」と訴える方などさまざま
な方が利用しています。

ここでは、5人ほどの少人数グ
ループを作って、一人ひとりの状
態に合わせた作業ができるように
支援しています。例えば、お昼ご
飯を作る時は、野菜の皮を剥くグ
ループ、野菜を切るグループ、火
を使用して調理をするグループな
どに分かれて作業に取り組んでい
ます。今日は、施設の畑でみんな
で育て、収穫した里芋を使って、
里芋の田楽を作りました。実は食

事のメニューも自分たちが食べた
いものを自分たちで決めているん
ですよ。

その人らしく

認知症を患っていても、その時
もつ能力を最大限に発揮し、その
人らしく生活していくことができ
ます。ここでは必ずこれをしなく
てはいけないということはありません。
せん。その人らしく、今まで生活
してきた環境をなるべく変えずに
過ごせるよう、その人の生活に根
付いたケアを心掛けていきます。

当たり前の存在へ

認知症の方と関わるうえで、そ
の人がどのように人生を歩み、暮
らしてきたか考えていくことが重
要です。それはその人の根っこで
あり、それを起点に考えることで
症状や行動の理由が分かり、対応
の道筋が見えてきます。

デイサービスは体が悪くなった
から来る場所ではなく、その方の
生活をそのまま続けるための場所
です。特別なものではなく、地域
にあって当たり前の存在であるこ
とを地域の方に知ってもらえると
嬉しいですよ。



安藤 ヨシさん

日和に通うようになって10
年になりました。この10年間
は本当にあつという間で、私
にとってここは生きがいの場
所です。職員の方はどんな時
も温かく笑顔で接してくれて、
安心して過ごせます。

——利用者の声——



吉田 隆夫さん

日和は、自分のことはでき
るだけ自分でできるように手
伝ってくれます。ここでは、い
ろいろな活動や作業があつて、
昔を思い出しながら楽しく取
り組んでいます。

これらの言葉は、担当ケアマネジャーを通じて寄せられた
「認知症と生きる」当事者たちの声です。
認知症になったからといって、何もかも分からなくなる訳ではありません。
日々、喜びや悲しみ、忘れていくことへの不安など、さまざまな感情を抱いて暮らしています。
しかし、その思いを言葉で上手く表現できない時もあります。
何を伝えたいのか、ゆつくりとその声に耳を傾けてください。
1人でも多くの人が認知症を正しく理解し、温かい心で支え合える地域であれば、
誰もが安心して暮らせる国見町になるのではないのでしょうか。



くにも学園構想

- ・自然と触れ合える
- ・リラックスできる図書館
- ・広い教室
- ・地域との交流
- ・スポーツ施設の一般開放
- ・キレイなトイレ
- ・体験学習
- ・遊び場
- ・みんなで楽しく食事

こんな環境で
学びたい

- ・町の中心になる施設に
- ・地域の世代間交流ができる
- ・安全対策をしっかりと
- ・自在に広がる教室
- ・学校機能はしっかりと
- ・災害時にも活用

学園への期待

- ・思いやり
- ・心身の健康、元気
- ・国見が好き
- ・やさしさ
- ・やり抜く力
- ・自己管理
- ・失敗を恐れず挑戦
- ・学力
- ・国際交流

育みたい思い・力

みんなが真剣に考えた時間

—くにも学園構想ワークショップ—

「子どもたちの学校の話をしませんか」くにも学園構想ワークショップを11月27日、観月台文化センターで開き、保護者や地域の皆さん20人に参加いただきました。

ワークショップでは、これまでの保育・教育環境の現状、少子化に伴う新たな課題、デジタル化の未来社会などの説明があり、グループでの話し合いをしました。

参加者は、「世代の違う保護者の意見が聞けて良かった」「自分事として考えるきっかけになった」「理想もいけど、本来の学校を見失わないように」など、くにも学園構想に関心を寄せていました。

今回のワークショップには、子育てや教育に関する2人の専門家が、アドバイザーとして参加しました。桜の聖母短期大学の三瓶千香子教授は「未来の社会を生きる子どもたちのために、国見らしい学園を目指してほしい」、仙台大学柴田千賀子教授は「大人が子どもたちのためにいろいろ考えて、ワクワクしている。この姿を子どもたちにも見てほしい。そして、子どもたちの声も届けたい」と話しました。

国見の子どもたちの未来、皆さんの意見や考えが貴重なヒントとなっています。



フミダス！プレコン2022 AUTUMN を実施しました！

放課後塾ハルでは、中学生が地域を横断してさまざまなプロジェクトに挑戦できる「フミダス！プロジェクト」を年4回実施しています。子どもたちが「自分の世界から、そして今の自分から、一歩踏み出すことの大切さや楽しさを感じることを目指して、このプロジェクトを動かしています。

そんなフミダス！プロジェクトの一つである「フミダス！プレコン2022AUTUMN」本番が、12月4日に開催されました。このイベントでは、全国にいる中高生が自分のやりたい！を実現するために、自分の思いを大人の前でプレゼンするプロジェクトです。共感していただいた参加者の大人から、ヒト、カネ、情報のサポートを受けることができるというものです。

今回は、中学2年生の村上笑平さんがプレゼンを行い、国見町を盛り上げるための「ロゲイニング」イベントを提案。見事目標金額を達成し、プロジェクト実現に向けて動き出せることが決まりました！当日のイベントでは、企画者の桜澤来楠さん（中1）と近野舜也さん（中2）を中心として、会場準備とイベントの司会進行をつとめ、会場はあたたかい雰囲気になりました。

※ロゲイニング：地図をもとに時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ



■参加した生徒からの感想



登壇者：村上笑平さん

国見町チームが一丸となって、プロジェクトが実現できるように、たくさんの人にプレゼンを聴いてもらえるように頑張ってきました。ご支援いただいた皆さま、本当にありがとうございました。皆さんにいただいたご支援で、もっとより良く、面白く、楽しく国見町を盛り上げていきたいと思えます！



登壇者：桜澤来楠さん

登壇者の笑平さんの目標金額を大幅に達成したときが一番印象に残っています。今までみんなで町内の人にイベントに参加してもらえるように営業に行ったり、当日を盛り上げるための企画を考えたりした、頑張りの結果が出たと思います。今度は、私も登壇者のように自分のやりたいこと（空き家活用や海外のつながりを作ること）をかたちにできるようにしたいと思いました！



登壇者：近野舜也さん

人を楽しませることをやりたくて、今回のプレコンに参加しました。プレコン営業では、営業で話す内容をスクリプトで覚えて、スラスラ話せるようになるまでは、とても大変で、家ではたくさん練習をしました。当日は、イベントを盛り上げるレクリエーションの司会をして、会場を盛り上げることができたのは良かったです。

今回のプロジェクトは3か月かけて実施をしてきました。彼らが葛藤しながらも、どのようにプロジェクトを通して挑戦を続けてきたのかをまとめています。気になる方はQRコードを読み取り、彼らの成長過程をぜひご覧ください！



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:hokugojuku.halu@gmail.com

TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442

※14:00～22:00 土日祝日、年末年始を除く。

～準備はお早めに～

令和4年分所得税・令和5年度住民税の申告相談

町では次のとおり申告相談を予定しています。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしての申告相談となるため、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、1月10日頃に各戸配布する「申告のお知らせ」をご覧ください。 税務課課税係 ☎ 585-2778

期間 2月13日(月)～3月15日(金)

午前の部 午前9時から(受付11時30分まで)
午後の部 午後1時から(受付4時30分まで)

会場 観月台文化センター3階 第1・2研修室

■申告会場問い合わせ電話番号
☎ 585-1083 (直通・期間中に限る)

申告相談日程 ※指定日が都合の悪い方は期間中いつでも申告相談できます。

月 日	町内会名	月 日	町内会名
2月13日(月)	小坂・太田川	3月1日(金)	大町北・本町・宮町(南・北)
14日(火)	前田・泉田上・泉田中	2日(土)	宮東・町東・藤田(光陽・宮前)
15日(水)	泉田下・鳥取・板橋	3日(日)	原町・築館・並柳
16日(木)	板橋南・内谷西・内谷東	5日(火)	休日相談受付(地区の指定はありません)
17日(金)	貝田・光明寺	6日(水)	観月台文化センター休館日のため休み
20日(月)	大木戸・高城・山根・上野	7日(木)	中部・北部・川内
21日(火)	鶉町・滝山・小林・山崎館	8日(金)	森江野第1・2
22日(水)	山崎(北・小館・宮館・宮前) 源宗山(西・東・北)	9日(土)	森江野第3・4
23日(木)	祝日のため休み	10日(日)	徳江北・森江野第7
24日(金)	大坂・山崎耕谷・山崎沢田	13日(月)	森江野第8・9
27日(月)	石母田(東・表・北・原・西)	14日(火)	森江野第10・11・12
28日(水)	駅前・錦町・大町南	15日(木)	全地区(地区の指定はありません)

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策】

- ①来場者が集中することを防ぐため、町内会ごとに日程の割り振りをしています。
 - ②待合室を廃止しています。順番となり次第、お渡しするベルでお呼びします。
 - ③当日の受付状況により、受付人数を制限します。
 - ④発熱などの症状がある方は来場を控えてください。会場ではマスクの着用や手指消毒にご協力ください。
- ※相談時間短縮のため、事前に自宅などで書類(事業所得、医療費控除等)の作成をお願いします。また、e-Taxによる電子申告、郵送申告を利用してください。詳細は税務署のホームページをご覧ください。

税務署からのお知らせ

《申告書作成・送信は自宅で国税庁HPから》

- パソコン、スマートフォンなどから画面の案内に従って金額などを入力するだけで、申告書が作成できます。
- 読み取り対応のスマートフォンであれば、マイナンバーカードの電子証明書によるe-Tax(電子申告)が可能です。
- スマートフォンのカメラで給与所得の源泉徴収票を撮影すれば、金額や支払者情報などが自動で入力されます。

※詳しくは「確定申告」で検索

確定申告 検索



《国税に関する質問・相談》

電話相談センター

国税に関する一般的な相談は、仙台国税局の職員が答えます。☎ 024-534-3121 (福島税務署)に電話し、音声ガイダンスに従って、「1」番を選択してください。

タックスアンサー

よくある国税の質問に対する一般的な回答は、国税庁ホームページの「タックスアンサー」に掲載していますので、ぜひ利用してください。

【確定申告書作成会場】※会場が変わります!

■場所 アクティブシニアセンターA O Z 大活動室 (福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階)

■期間 2月16日～3月15日(土日祝を除く)

※ただし、2月19日(日)及び2月27日(日)は開設。

■時間 午前9時15分～午後4時 ※9時開場

※MAXふくしまの駐車場は、駐車時間が2時間を超えると有料になります。

※感染予防対策のため、入場には「入場整理券」が必要です。入場整理券はLINEを通じたオンラインによる事前発行が便利です。(事前発行可能期間が設けられています)なお、会場入り口でも当日配布しますが、配布状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。

※申告書作成会場では、ご自身のスマートフォンやタブレットを使用して申告書を作成します。スマートフォン等及びマイナンバーカードをお持ちの方は持参してください。(設定した暗証番号を含む)

☎福島税務署 ☎ 534-3121



夜空を彩るあつかし山ビッグツリーと花火

—冬空を彩る光の共演—

あつかし山 ビッグツリー



サンタさんから子どもたちへクリスマスプレゼント



会場から望むあつかし山ビッグツリーと花火

今年で30回目を迎えた年の瀬の恒例イベント「あつかし山ビッグツリー」の点灯式が12月18日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

午後5時、関係者が一斉に点灯スイッチを押すと、光の粒で縁取られた阿津賀志山のシルエットが冬の夜空に浮かびあがりました。真っ白に雪化粧した標高289メートルの阿津賀志山山頂にビッグツリーが美しく輝きました。

点灯と同時に打ち上げられた、色とりどりの花火が鮮やかに冬の夜空を彩ると、会場からは大きな歓声があがりました。

会場内では、商工会青年部の皆さんが子どもたちへお菓子のクリスマスプレゼントを渡すなど、点灯式を盛り上げました。

1月4日まで点灯した国見の冬の風物詩「あつかし山ビッグツリー」は、町の皆さんや町を訪れた方たちを温かく見守り、町を優しく照らしてくれました。

あつかし山ビッグツリーは、町建設業協会と管工事組合の皆さんの協力により設営されています。寒空の下での作業が、国見の冬の風物詩を支えます。



町建設業協会と管工事組合の皆さんによる設置作業

町職員の給与状況等をお知らせします

町職員の給与は、民間企業、国や他の地方公共団体の給与などを考慮したうえで、町議会の審議を経て条例で定められています。

町の人事行政運営等を町民の皆さんに理解していただくため「国見町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、職員数や給与、服務などの状況について公表します。

☎総務課庶務係 ☎ 585-2112

① 職員数及び任免の状況

■部門別職員数の状況（各年4月1日現在）（単位：人）

部 門	一般行政部門										特別行政部門	公営企業会計 水道・下水道 その他	合計
	議会	総務	企画	税務	民生	衛生	農林	商工	土木	小計			
令和4年度	3	19	9	8	20	11	7	3	7	87	23	11	121
令和3年度	2	19	9	9	17	11	9	3	7	86	21	11	118

※特別職（3人）は含まれていません。

■一般行政職の級別職員数の状況（令和4年4月1日現在）

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主任主事	主査	課長補佐 主任主査	課長等	参事	総務課長	—
職員数	5人	12人	25人	26人	14人	4人	1人	87人
構成比	5.7%	13.8%	28.7%	29.9%	16.1%	4.6%	1.1%	100.0%

※小数点以下の処理の都合上、合計が100%にならない場合があります。

■採用及び退職の状況

令和4年4月1日 付け採用者数	6人
令和3年度 退職者数	6人
増減	0人

② 職員の給与の状況

■人件費の状況（令和3年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (令和4年3月31日現在)	歳出額 A	人件費 B	人件費率 (B/A)
8,530人	7,312,525千円	1,210,766千円	16.55%

※人件費には、特別職に支給される報酬なども含んでいます。

■職員給与の状況（令和3年度普通会計決算）

職員数 A	給 与 費				1人当りの給与額 B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
109人	394,732千円	96,442千円	160,804千円	651,978千円	5,982千円

※職員手当には、退職手当（退職手当負担金）及び児童手当は含まれません。

■職員の平均給料月額及び平均年齢
(令和4年4月1日現在)

区 分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	318,900円	41.1歳

■職員の初任給の状況（令和4年4月1日現在）

区 分	初任給	
一般行政職	大学卒	193,100円
	高校卒	158,400円

■特別職の報酬等の状況（令和4年4月1日現在）

区 分	給料・報酬月額	期末手当	
		三 月 分	六 月 分
町 長	846,000円	6月期	1.6月分
副町長	676,000円	12月期	1.6月分
教育長	635,000円	合計	3.2月分
議 長	338,000円	6月期	1.6月分
副議長	254,000円	12月期	1.6月分
議 員	228,000円	合計	3.2月分

■主な手当の種類とその内容

期末・勤勉手当 (一般職)	・期末手当 6月期 1.175月分 12月期 1.175月分 ・勤勉手当 6月期 0.95月分 12月期 0.95月分 ※職制上の段階、職務の級などによる加算措置あり(令和4年4月1日現在)
時間外勤務手当	・職員一人当たり平均支給年額…537,945円(令和3年度決算額)
扶養手当	・配偶者…6,500円 ・子…10,000円 ・父母等…6,500円 ・扶養親族のうち16歳から22歳までの子…1人5,000円加算
住居手当	・借家借間…28,000円上限
通勤手当	・交通機関など利用者…64,000円までは全額、64,000円を超えた場合、その超えた額の1/2の額を64,000円に加えた額 ・自動車等使用者…通勤距離に応じて、2,600円～60,700円
特殊勤務手当	令和3年度 ・職員全体に占める手当支給者の割合…37.3% ・支給対象職員1人当たり平均支給年額…18,289円 ・代表的な手当の支給者…税務職員など
管理職手当	・職制上の段階により、50,900円～91,100円(課長以上)

③ 職員の勤務条件の状況

■勤務時間

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	午前8時30分
終了時刻	午後5時15分

■休暇制度

休暇の種類	付 与 日 数
年次有給休暇	年ごとに20日間付与され、20日を超えない範囲内の残日数は翌年度に繰り越し可能 (令和3年平均取得日数…6.3日)
産前産後休暇	産前8週、産後8週
配偶者の出産休暇	3日以内
育児時間休暇	1日2回各45分以内
子の看護休暇	7日以内 (子が2人以上の場合は10日以内)
結婚休暇	7日以内
忌引休暇	続柄により1～10日以内
夏季休暇	6月から10月の間に5日以内
短期介護休暇	5日以内 (要介護者が2人以上の場合は10日以内)
ボランティア休暇	5日以内

■育児休業の取得状況（令和3年度）

区 分	育児休業の取得期間		
	1年以内	1～2年以内	2～3年以内
男 性	0件	0件	0件
女 性	3件	0件	0件

④ 職員の分限処分と懲戒処分の状況（令和3年度）

- ・分限処分…なし
- ・懲戒処分…1件

⑤ 職員のサービスの状況（令和3年度）

区 分	承認件数	事由
服務義務違反	1件	職務専念義務
営利企業等従事許可	0件	

⑥ 職員の研修と勤務評定の状況（令和3年度）

■職員の研修の状況

区 分	内 容	受講者数
派遣研修 (ふくしま自治 研修センター)	階層別研修 (一般職員)	8人
	専門研修	18人
庁内研修	接遇研修	中止
	新規採用職員研修	4人
	メンタルヘルス研修	44人

■職員の勤務評定の状況

6月期及び12月期の勤勉手当について、勤務評定を実施し、その評定を反映させて支給しています。

⑦ 職員の福祉と利益の保護の状況（令和3年度）

■健康診断等の受診状況 ■公務災害と通勤災害の発生件数

区 分	受診者数	区 分	件数
定期健康診断	83件	公務災害	0件
人間ドック	37件	通勤災害	0件

⑧ 公平委員会の業務の状況（令和3年度）

区 分	件数
勤務条件に関する措置の要求の状況	0件
不利益処分に関する不服申し立ての状況	0件
人事行政相談の状況	1件

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



郷土史研究会×国見町歴史まちづくりフォーラム 方部研修会「小坂・観音堂を歩けば」を開催

郷土史研究会と国見町歴史まちづくりフォーラムが11月27日、小坂地区でまちあるきイベントを行い、町内外から約50人が参加しました。

当日はすがすがしい晴模様で、日差しが当たるとポカポカと暖かさを感じました。小坂農村総合管理センターを発着とし、3.5kmのAコースと2.5kmのBコースの2コースに分かれ、郷土史研究会会員の解説を聞きながら、小坂地区を散策しました。

休憩所となった福源寺地蔵庵観音堂では、観音様を守る会の皆さんから、果物やふかし芋の振る舞いがありました。心温まるおもてなしに、参加者からは笑顔が溢れていました。



参加者の声

Aコースに参加した皆さん

同じ職場のメンバーで参加しました。普段も散歩をしていますが、みんなで歩くとより楽しいです。車では通り過ぎてしまうところも、歩いてゆっくり見ることによって、たくさん知ることができました。地元に来て良かったことがなかったところを見られて良かったです。



深山神社大権・大藤

まちあるきの様子

松蔵寺

観音堂にて

歴史再発見

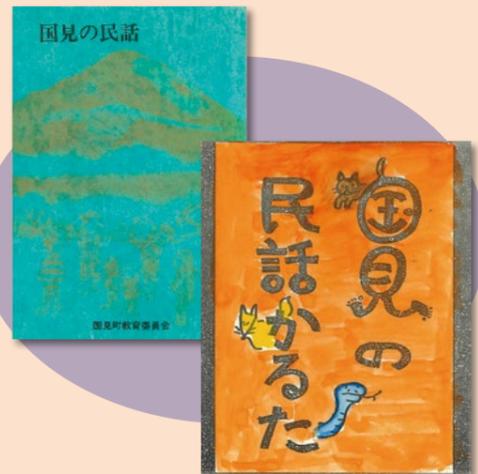
お正月特集～国見の民話かるた～

昭和55年～59年に「国見民話の会」の前身である「木曜会」の会員が中心となって、町内のさまざまな方から聞き取りをし、100余話の伝説・昔話・風習・文化財に関する話などをまとめた「国見の民話」を編纂しました。

その後、昭和62年に45話を「国見の民話かるた」として抜粋し、読み札（ことば）を内池和子さんが、取り札（イラスト）を鈴木道代さんが手書きにて作成しました。

口頭で語り継がれてきた民話が、書籍やかかるたなど形あるものとして、現代に受け継がれています。

これから「国見の民話かるた」について、詳しく紹介していきます。



岡野 希春
(Kiharu Okano)

— Activity Report —

Vol.29

地域おこし協力隊活動日記



▲詳細はコチラ

りんごの木オーナーの方と収穫体験を実施

こんにちは、地域おこし協力隊の岡野希春です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は私の活動内容についてお伝えします。

桃の木オーナー制度に続き、りんごの木オーナー制度を実施しています。りんごの木オーナーは、生育過程を楽しみながらりんごを受け取ることができる仕組みです。11月末にはりんごの収穫体験会を行いました。



▲シェアしているりんごの木の前で



▲自分で収穫したりんごを味わいました！

当日は農家さんからおいしいりんごの見分け方を教えてもらったり、食べ比べなどを行いました。桃の木オーナー制度から引き続き参加して下さった方や、はるばる福島に遊びに来た方まで。

参加者からは「たくさん手間と時間をかけているからこそ、おいしいりんごができていたと感じた。味わい方が変わった」「こんなおいしいりんごを食べたのは初めて。品種によって全然味が違った」などの感想が聞かれ、りんごの魅力をぎゅっと感じられる時間になりました。



大内 弦人

野村 慧介

堀江 咲羽

秦 零月

【消しゴムハンコで作るデザインバック】
県北中学校（1年）

心なみオトたち

町の農業を守るために 農業委員会が意見書を提出

国見町農業委員会（渋谷福重会長）は12月16日、「令和5年度農地利用最適化推進施策の改善についての意見書」を引地真町長へ提出しました。

意見書は、町の基幹産業である農業の今後を考え、農地などの利用最適化に関する各種施策の積極的な推進について意見を集約し、取りまとめたものです。



意見書を手渡す渋谷会長(中央)と八島会長職務代理者(右)

町政の発展に貢献 叙勲伝達式

叙勲伝達式が12月20日に国見町役場で行われ、齋藤政之さんが旭日単光章を受章されました。

齋藤さんは、平成11年に国見町議会議員に当選以来、平成23年までの3期12年の永きにわたり在職し、町政の発展に尽力されました。齋藤さんは「今回の受賞は、地域の皆さんに支えていただいたおかげ。本当にありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。



受賞した齋藤政之さん(中央)

子育て支援に役立てて 国見ライオンズクラブが活動支援金を贈呈

国見ライオンズクラブ（齋藤政利会長）は12月21日、町のボランティアグループが運営する放課後クッキングクラブへ活動支援金の贈呈を行いました。

支援金を受け取った放課後クッキングクラブ代表の松浦知弘さんは「子どもたちのために大切にに使わせていただきます」と述べました。この取り組みは昨年に引き続き行われ、次年度以降も継続して行われる予定です。



支援金を手渡す齋藤政利会長(左から2人目)

「国見のたからもの」がまたひとつ 松田家住宅が国登録有形文化財に

貝田地区の松田家住宅（松田昭子さん所有）が10月31日付けで国の登録有形文化財に登録され、登録証の伝達式が12月21日に行われました。引地真町長から国登録有形文化財の登録証を伝達された松田昭子さんは、「この家をなんとか活用していきたいと思っていた。登録は皆さんのご尽力のおかげ。今後は、皆さんと地域の役に立てるような場所になりたい」と意気込みを述べました。



国登録有形文化財の登録証を受け取る松田昭子さん(右)



多くの来場者で賑わった会場

小坂の新そばを堪能 第15回小坂そばまつり

小坂まちづくりの会主催の第15回小坂そばまつりが12月4日、小坂農村総合管理センターで開催されました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりとなったそばまつりには、町内外から多くの人々が来場し、おいしいそばに舌鼓を打ちました。来場者は小坂産の風味豊かなそばを堪能したほか、会員手づくりの手芸品を買い求めるなど、そばまつりを楽しみました。

事件事故防止を呼びかけ 年末年始の事件事故防止活動の出動式

年末年始の事件事故防止活動の出動式が12月9日、JAふくしま未来国見総合支店で行われました。国見・桑折両町の交通・防犯団体の関係者が出席し、年末年始の事件事故防止に向けて誓いを新たにしました。

出動式後には、引地真町長ら関係者が道の駅国見あつかしの郷で街頭啓発を行い、訪れた買い物客へ交通安全と防犯の推進を呼びかけました。



街頭啓発を行う関係者の皆さん

子どもたちへクリスマスプレゼント リトルオリーブこども基金が子どもクラブを訪問

リトルオリーブこども基金のクリスマス訪問が12月10日、子どもクラブで行われました。「リトルオリーブこども基金」は、被災地の子どもたちへ支援を行っている団体です。

訪問は新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりとなりましたが、英語と日本語による絵本の読み聞かせや宝探しゲームのほか、子どもたちへのプレゼントなど、とても思い出に残るものとなりました。



絵本の読み聞かせに夢中になる子どもたち

スポーツの楽しさを知ってほしい 福島ユナイテッドFCがサッカー教室を開催

福島ユナイテッドFCが12月16日、くにみ幼稚園の年長組の園児を対象にサッカー教室を開催しました。この教室は、県サッカー協会の「キッズ巡回指導」の一環として開催され、国見町が同チームのホームタウンとなっていることから実現したものです。当日はあいにくの雨模様で、くにみ幼稚園遊戯室での開催となりましたが、園児たちは指導員と一緒に元気に体を動かし、サッカーを楽しみました。



みんなで一緒にドリブルの練習

ももさぽインフォメーション

乳児健診

- 実施日** 令和5年3月23日(日)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和4年11月生まれ) 9か月児(令和4年5月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

1歳6か月児健診

- 実施日** 令和5年3月9日(日)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時30分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 令和3年6月1日～ 令和3年8月31日生まれ
- 持ち物** 母子健康手帳
- 内容** 医師の診察、歯磨き指導など

ニコニコ相談会

- 実施日** 令和5年3月8日(日)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦 国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

食育シリーズ

町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が向いて、くにも幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。

12月 年中児「赤・黄・緑の動き」



ほけん だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

第31回「歯っぴいライフ8020」国見町から5人が認定!!

福島県と県歯科医師会は9月30日、80歳以上で歯が20本以上ある人をたたえる「歯っぴいライフ8020」の認定者を発表し、国見町からは5人の方々が発見されました。皆さんの歯の健康維持の功績をたたえ町から表彰状と記念品を贈呈しました。皆さんおめでとうございます。

■認定者インタビュー

以前から毎日の歯みがきは欠かしませんでしたが、若い頃は今ほど歯に気を使っていませんでした。しかし、退職後に体調を崩し、「歯」の健康の必要性を感じるようになりました。今では定期的に歯科医院を受診し、健診とケアを受けています。また、日頃の歯みがきでは、歯肉と舌の汚れも落とすよう気を付けています。そのほか、歯を丈夫にするためにカルシウムを摂ることや、甘いものの食べすぎを控えるよう心がけています。



中村 洋平さん

【8020 認定者】

吾妻 正子さん 杉崎 謙吾さん
渡辺 宏さん 中村 洋平さん
伊藤 康夫さん

認定者の皆さんに共通していたことは、定期的な歯科検診を受けることでした。歯科医師や歯科衛生士から、現在の歯や口全体の状態の説明やケアを覚えてもらうことで、自分に合った歯ブラシや歯間ブラシを使い分け、工夫しながら歯みがきをしているようです。

■歯の健康を守る秘訣は歯科検診!

年を重ねた方でも歯があってよく噛める人は、運動能力や脳の活性化にも良い影響が出ていると言われています。逆に歯が無いと、食事をおいしく食べることができず、食欲が湧かず、栄養が不足がちになったり、体のバランスが取りにくくなり転びやすくなると言われています。

充実した生活を送り続けるためには、子どもの頃から高齢者になるまでの全てのライフステージで健康な歯を保つことが大切です。歯がある方はこれからも丈夫な歯でい続けられるように、歯が抜けてしまった方は早めに歯科治療を受けられるように、まずは、歯医者さんに相談してみましょう!

※国見町では毎年10月に対象者(年度末に40歳・50歳・60歳・70歳になる方)に「歯科検診」の受診券を配布しています。

※令和4年度から「歯っぴいライフ8020」の対象者は「その年度の6月30日時点で80歳になった方」に変更します。募集期間が決定したら広報紙でお知らせします。

院長先生の診察室から

【第14回】



公立藤田総合病院院長 近藤 祐一郎 先生

新年明けましておめでとうございます。令和5年の十二支は卯(う:うさぎ)です。「卯」という字は冬の門が開き、飛び出るといわれていると言われています。新型コロナが収束して、普通の生活ができ、明るい社会が戻ることを期待しています。昨年のサッカーワールドカップでは、日本代表の予想以上?の大活躍に、パワーをもらった方も多かったと思います。今年は、野球のWBCが開催されますので、楽しみです。岩手県出身の大谷翔平選手が大活躍することを期待しています。

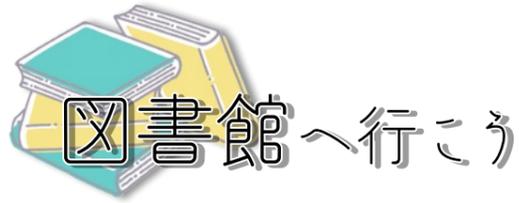
新型コロナに3年間翻弄されてきましたが、通常の生活に戻すべき時期に来ていると考えています。長期間にわたり制限のある生活を送ってきましたが、オミクロン株の死亡率は0.1%程度で、重症化率も低下しているようです。ワクチン、治療薬が利用できる状況となりました。過度に恐れ、社会活動を止めて抑え込む必要はないと思います。季節性インフルエンザと同様に感染対策を続けながら、規制を徐々に緩めて、新型コロナと共生する社会を構築する方向に進むべきでしょう。

コロナ下で、健康診断が受診できず、運動不足、不規則な食事などが増え、健康に対する注意が十分でなかった方もいらっしゃると思います。令和5年は、ご自身やご家族の健康チェックをもう一度行って、健康な体と、心を取り戻しましょう。

けんこく 健口キッズ

11月に実施した3歳6か月児健診で、むし歯が1本もなかったお子さんたちです。





国見町図書館からのお知らせや新刊図書情報を掲載しています。ぜひお友だち登録してください！



▲LINE登録はコチラから



子ども司書活動「クリスマスおはなし会」

国見町子ども司書による「クリスマスおはなし会」が12月17日、観月台文化センター大研修室で開催されました。

始めにエプロンシアター「カレーでおんど」が披露され、参加した子どもたちは、お話に合わせて次々に出てくる野菜に興味津々の様子でした。



絵本の読み聞かせ「クリスマスのねがいごと」、パネルシアター「ほしのクリスマス号」では、目をキラキラさせながら歌を口ずさみ、呼びかけに反応する姿もみられました。

参加者には笑顔があふれ、クリスマス前の楽しいひとときとなりました。



子ども移動図書館「鑑賞教室」

国見小学校児童1年生から3年生を対象にした子ども移動図書館では「鑑賞教室」を実施し、子ども移動図書館指導員によるパネルシアター「おなかのかわ」が披露されました。

児童たちは、お話に合わせて張り替えられるパーツや場面転換に、目を輝かせて聞き入っていました。



ホールに響くホワイトクリスマスのしらべ——

12月18日、仙台フィルハーモニー管弦楽団・メンバーによる「クリスマスコンサート」が開催されました。

この日は朝から雪が舞い散るホワイトクリスマス。町の宝でもある「ベーゼンドルファー」によるシューマンのピアノ四重奏から始まり、イバール、アンダーソン、チャイコフスキーの馴染みの曲へと、本格派クラシックの演奏でした。

アンダーソンのクリスマスフェスティバルが演奏されると、会場の雰囲気は一変。華やかな雪化粧をまとった演出もあり、会場はクリスマスの気分に包まれました。



▲素晴らしいステージ発表が続きました

学習の成果を発表しました

くみに観月台カレッジ 学習発表会

くみに観月台カレッジ学習発表会が12月9日、観月台文化センターホールをメイン会場に開催されました。7つのグループのステージ発表、ホールロビーでは女性教室や絵手紙グループの作品発表、あつかし学級や成人学級、女性教室と13のグループの活動の様子をパネルにまとめた展示発表が行われました。それぞれの発表を通して、受講生はさまざまな活動に熱心に取り組むお互いの様子を知り、交流を深めることができました。受講生以外の方も含め150人が来場し、とても楽しい賑やかな発表会になりました。

文化センターロビーではパネル展示をしています。ぜひご覧ください。



▲自分だけのデコレーションを楽しみました

みんなで楽しいクリスマス

国見っ子わんぱく広場「クリスマス」

12月17日、寿クラブと町社会福祉協議会の皆さんと一緒に、おやつ作りとビックアート作成を行いました。おやつは「マシュマロクラッカー」、星や動物などを描き、デコレーションを楽しみながら仕上げました。

ビックアートは折り紙で思い思いに飾りつけを行い、クリスマスツリーを作成しました。最後に、寿クラブと町社会福祉協議会の皆さんからクリスマスプレゼントが贈られ、子どもたちはとても喜んでいました。

▶Lifelong-Learning

生涯学習通信



国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）

☎ 585-2676 Fax585-2707

E-mail : shogai@town.kunimi.fukushima.jp



第23回 国見町青少年健全育成推進町民大会

▲表彰された16人の皆さん

青少年の健やかな成長を願って

国見町青少年健全育成町民会議

第23回国見町青少年健全育成推進町民大会が12月4日、観月台文化センターホールで開催しました。「家庭の日」作品コンクール受賞者の児童生徒や各種大会の全国大会出場者など、16人への表彰伝達及び表彰を行いました。講演会では、特定非営利活動法人「あなたのいばしょ」の大山幸星理事長が「望まない孤独を根絶する」をテーマに講演。孤独と孤立の違いや、スクールカウンセラーの設置数を増やしても自殺件数が減らない現状について話がありました。多くの方が来場し、青少年育成について考える機会となりました。



▲寒空のもと元気いっぱい体を動かしました

少年仲間づくり教室「ランニング教室」

地域学校協働本部事業

第6回活動「ランニング教室」が12月10日、上野台運動公園で行われました。国見町駅伝競走部の佐藤淳哉さんを講師に迎え、速く走るコツを学びました。町駅伝競走部員の皆さんと一緒に準備運動や、体を大きく動かす練習をした後、50m走のプチ記録会やリレーを行いました。参加した20人の教室生は冷たい風にも負けず、元気いっぱい活動しました。

お知らせ

観月台寄席 開催のお知らせ

観月台寄席「古典落語三遊亭好楽」を開催します。詳しくは問い合わせください。

▼日時 3月21日(祝)・午後1時開演
▼会場 観月台文化センターホール
▼料金 全席自由・前売り2000円(当日2500円)
▼発売日 1月24日(火)

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。令和5年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届出をお願いします。

・農地の売買などにより所有者が変わったとき
・地区除外をするとき
・経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
・農地の賃借があったとき(水利費の支払い義務者を確認してください)

地域の女性リーダー 育成セミナー

福島県では、地域に参画する女性人材の育成を目的に、地域活動における女性ロールモデルを講師として、セミナーを開催しています。ぜひご参加ください。

▼参加費 無料
▼託児 無料
▼講師 一般社団法人tenten代表理事 藤本菜月氏、任意団体なみとも代表 小林奈保子氏、HITOKUMALAB代表 佐藤亜紀氏
▼届出・問い合わせ 伊達西根堰土地改良区 582-2319

自筆証書遺言書補完 制度をご存じですか

令和2年7月から始まった自筆証書遺言書を法務局で保管する制度について、説明会を開催します。福島地方法務局本局を拠点として、相馬・郡山・白河・若松・いわきにある支局をWEB会議システムでつなぎ、本局において職員が説明している様子を支局に設置した画面を見ているだけです。

Table with 3 columns: 会場, 日程, 時間. 観月台文化センター 第2和室. 1月23日(日) ~ 1月27日(金).

保健師出前健康相談
秋の追加健診結果説明会
年末年始に飲みすぎ・食べすぎてしまつて体調を整えたい方、大歓迎です。保健師と日常生活での注意点を一緒に考えましょう。

町営住宅・定住促進住宅の空室状況をお知らせします (令和4年12月末)
Table with 4 rows: 滝山団地 (2部屋), 板橋南団地 (空室なし), 定住促進住宅 (空室なし), 子育て住宅 (空室なし).

農業委員会
日時 1月16日(日) 午後1時30分から
場所 役場2階 大会議室
農業委員会事務局 585-2890

教育委員会
日時 1月20日(金) 午後5時15分から
場所 観月台文化センター 2階 第1会議室
学校教育課 585-2892

『広報くにみ』をもっと身近に!
スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ、活用ください。

大雪予想時は不要・不急の外出を控えましょう
大規模な車両滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれがあります。そのため、短期間の集中的な大雪時に、車両滞留を防ぐため道路通行止めをすることがあります。広域迂回へのご理解をお願いします。

広告掲載
希望の方は電話で申し込みください。
福島地方法務局供託課 534-1971

1 くにみカレンダー

1/10 火	・広報くにみ1月号発行日
11 水	・いきいきサロン第3 (午後1時半～) ・イキイキ子育てクラブ
12 木	・いきいきサロン藤田 (午前10時～) 耕谷 (午後1時半～) ・移動図書館 (2年生)
13 金	・いきいきサロン第8・9 (午後1時半～)
14 土	・国見つわんぱく広場「サイエンスショー・工作」
15 日	・子どもスキー教室
16 月	
17 火	・いきいきサロン山根 (午前10時～) 徳北・第7 (正午～) ・移動図書館 (1年生)
18 水	・いきいきサロン第1 (午後1時半～) ・ニコニコ相談会
19 木	・いきいきサロン第2 (午後1時半～) ・移動図書館 (3年生)
20 金	・いきいきサロン大木戸 (午後1時半～) ・観月台カレッジ全体学習「初笑い落語を聞く会」
21 土	・子ども司書講座「おはなし会練習」
22 日	
23 月	・いきいきサロン板橋 (午前10時～)
24 火	・いきいきサロン石母田 (午後1時半～)
25 水	・いきいきサロン貝田 (午後1時半～) ・いきいきサロン泉田中 (午前10時～) 大枝 (午後1時半～) ・3・9か月児健診
26 木	・ブックスタート
27 金	・いきいきサロン源宗山 (午前10時～) 光明寺 (午後1時半～)
28 土	・少年仲間づくり教室「ポッチャ教室」
29 日	
30 月	・いきいきサロン高城 (午後1時半～)
31 火	
2/1 水	・いきいきサロン太田川 (午後1時半～)
2 木	・いきいきサロン塚野目 (午後1時半～)
3 金	・いきいきサロン第4 (午後1時半～)
4 土	
5 日	
6 月	・いきいきサロン川内 (午後1時半～) ・休館日
7 火	・いきいきサロン内谷・鳥取 (午後1時半～)
8 水	・いきいきサロン第3 (午後1時半～) ・いきいきサロン藤田午前10時～ 耕谷 (午後1時半～) ・3歳6か月児健診
9 木	・移動図書館 (3年生)

2月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
5日 日	大木内科医院 (伊達市保原町元町4)	☎ 575-3343
11日 祝	(医) もり医院 (伊達市梁川町希望ヶ丘24)	☎ 577-7780
12日 日	(医) おの整形外科クリニック (伊達市梁川町西土橋120)	☎ 527-1055
19日 日	北福島医療センター (伊達市箱崎東23-1)	☎ 551-0551
23日 祝	(医) 桑名医院 (伊達市片町41)	☎ 583-3024
26日 日	こばやし子ども・内科クリニック (伊達市梁川町内町47)	☎ 577-0663

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

11月21日～12月20日受付分
【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

- 誕生おめでとう ●
 - 上神田 陽向ちゃん (山崎耕谷)
健太さん 香菜さん
 - 熊坂 煌大ちゃん (板橋)
亮助さん 恵子さん
- おくやみ申し上げます ●
 - 阿部 泰藏さん 73 (石母田北)
 - 目黒 孝一さん 95 (宮東)
 - 佐野伊勢夫さん 83 (第8)
 - 佐藤 ヨツさん 92 (第3)
 - 佐久間ヨシ子さん 92 (第12)
 - 佐藤 金一さん 88 (錦町)
 - 松浦 セツさん 99 (石母田原)
 - 西地 範行さん 83 (板橋南)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和4年11月30日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,415人	(-11)
男	4,056人	(-3)
女	4,359人	(-8)
世帯	3,394世帯	(+2)

まちの情報ボックス

今月の納期限は1月31日(火)

ぜひ口座振替をご利用下さい

- 固定資産税【第4期】**
☎ 税務課収納係 ☎ 585-2780
 - 国民健康保険税【第7期】**
後期高齢者医療保険料【第6期】
☎ ほけん課国保係 ☎ 585-2785
 - 介護保険料【第7期】**
☎ 福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125
- ・納め忘れがあると、督促状が届いたり延滞金が発生したりします。期限内に納付しましょう。
・振替口座の預貯金残高を前日までに確認しましょう。

広報くにみ12月号のお詫びと訂正

広報くにみ12月号6ページに記載の国見町民生・児童委員において、誤りがありました。正しくは次のとおりです。ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

■訂正箇所

【誤】大波桑美 ⇒ 【正】大浪桑美
【誤】我孫子美喜子 ⇒ 【正】安孫子美喜子

『広報くにみ』に掲載された写真を希望する方は
総務課秘書広報係
(☎ 585-2113) まで
ご連絡ください。



マイナンバーカード休日臨時相談窓口

まだマイナンバーカードを持っていない方は、この機会にぜひマイナンバーカードを作りましょう。
※マイナポイント申請対象のカード申請期限が令和5年2月末まで延長になりました。

- ◆日時 1月29日(日) 午前9時～午後4時
- ◆受付場所 住民防災課戸籍係 (緑の1番窓口)
☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

各種相談会

『心配ごと相談』

- ◆日時 2月9日(日)、2月22日(日)
午前9時～正午
- ◆場所 観月台文化センター 第2和室
- ◆相談員 民生児童委員

『障がい者相談』

- ◆日時 2月21日(日) 午前10時～午後4時
- ◆場所 観月台文化センター 第2和室
- ◆相談員 NPO法人「ひびきの会」

※秘密は厳守、相談無料です。
☎ 福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793

広告掲載

夢に向かって

もっと高みを目指して——

引地 ^{えいた} 英太 さん（県北中3年）

僕の将来の夢は、志望校に合格し、ソフトテニスで東北大会や全国大会に出場することです。

中学校の部活では、県大会に2度出場することができましたが、まだまだ満足していません。部活を引退したことで、「テニスを続けたい」「もっと上位の大会で良い成績を残したい」という気持ちがさらに強くなりました。

高校でのテニスは、中学校の部活よりもさらに厳しくなると思うし、今まで以上に「基礎が身についていること」が大切になってくると思います。受験勉強と両立して基礎練習をしっかりと継続し、苦手なバックを克服したいです。

また、競技をするうえで、ペアやチームメイトとコミュニケーションを取ることはとても大切なことだと思います。これからも人間関係、特に人との関わりを大切にしてテニスを続けていきたいです。

今後は、テニスだけに集中するのではなく、志望校合格を目指して苦手な数学や英語などの勉強にも力を入れて学習に取り組んでいきます。



ソフトテニス部では部長を務めていた引地英太さん。「絶対に全国大会に出場します!」と力強く宣言してくれた引地さん。誰にも負けたくないという意気込みを感じられました。

町長コラム



ま 真 くらむ

【第18回】

ギフト～願いと祈り～

知花、妃那、朱李、歩夢、春菜、和歩、愛麗那、花恋、杜和、雪乃、温翔…。今、1月8日の「はたちの成人のつどい」で、一人ひとりに贈る証書に名前を書いている。成人式を担当していた職員のころも書いてたからなあ、何回目になるんだろう。

成人年齢が20歳から18歳に引き下げられて、成人式＝20歳がすっかりこなくなる。でも、国見町はこれまで同様、対象者は20歳。内容も式典とパーティーで同じ。ただ、式の名称は「はたちの成人のつどい」に変更。これは対象の代表たちが決める。パーティーはともかく、20歳の子たちが堅苦しい式典を希望するなんて「あれ？意外!」と思ったら、「僕たちは、新型感染症で高校生活はおろか卒業式も、大学の入学式も、会社の入社式も満足していない。だからせめて、はたちのつどいでは式典をしてほしい」と。担当からこれを聞いてハッとした。そっかあ…。そうだよなど。

君たちが元気な産声を上げたとき、皆が祝福した。そして、お父さんとお母さんには大事な指令が下される。それは君たちに名前を贈ること。きっと悩んだはずだ。悩んだ分、君たちの名前には、願いが込められている。祈りが込められている。そう、名前は親から子への最初のギフト。

証書に名前を書きながら、そのときの親たちの心を勝手に想像してる。



引地 真